

参 考 资 料

1 ゆめパレアむこうについて

(1) 施設概要

ゆめパレアむこうは、向日市民温水プールと向日市健康増進センターが一体となった施設で、それぞれの施設の概要は以下のとおりです。

【市民温水プール】

名 称	向日市民温水プール
所 在 地	向日市鶏冠井町上古8番地の1
設 置 年 月	平成7年1月
建 設 費 用	約36億8,000万円（用地取得費含む）
設 置 目 的	市民の健康づくりと体力向上を図り、市民のふれあいを高めることを目的とする

【健康増進センター】

名 称	向日市健康増進センター
所 在 地	向日市鶏冠井町上古8番地の1
設 置 年 月	平成15年5月
建 設 費 用	約3億3,000万円
設 置 目 的	市民の健康の保持増進を図るため、市民自らが行う健康づくりの支援と介護予防を目的とする



【位置図】



【ゆめパレアむこう】



【市民温水プール】



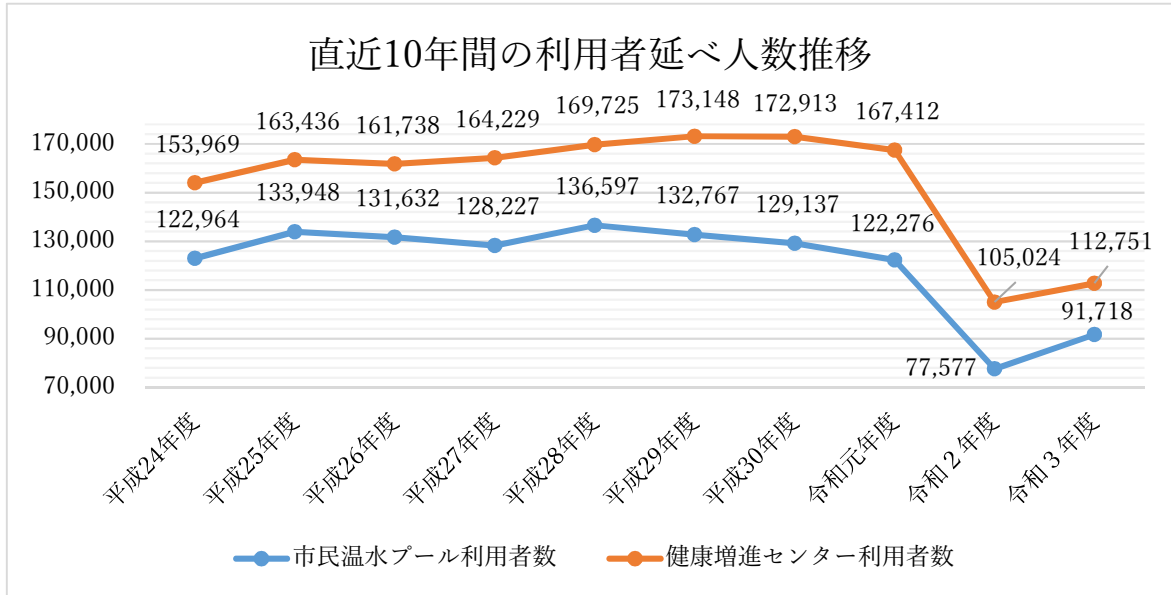
【健康増進センター】

2 利用者及び会員数について

(1) 利用者延べ人数の推移

直近10年間の利用者延べ人数については、市民温水プールでは、平成28年に最も多い136,597人、健康増進センターでは、平成29年に最も多い173,148人に達しましたが、それ以降どちらも減少傾向にあります。また、令和2年度以降においては、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、大幅に減少しています。

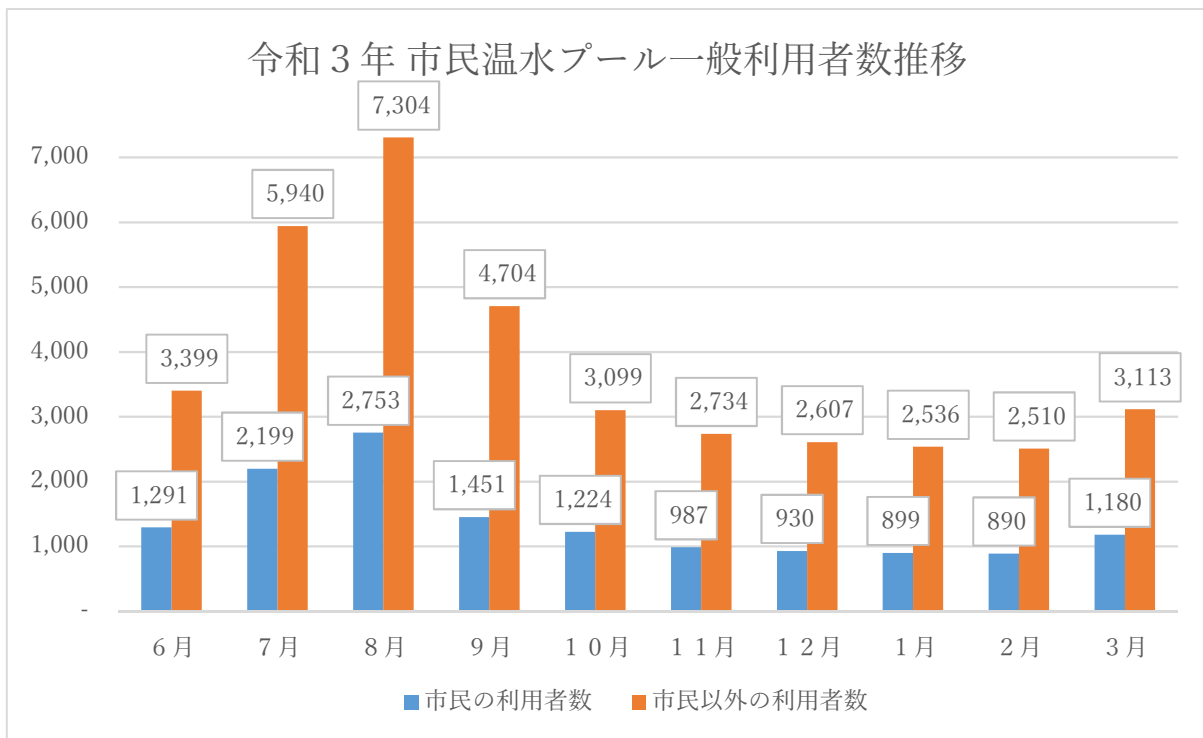
単位：人



(2) 市民温水プール一般利用者数の推移

令和3年6月以降、利用料金を市民と市民以外で区分したことから、一般利用の市民割合が判明しました。市民の割合は、累計で26.7%と3割にも満たず、市民以外の利用者が多いことが分かります。

単位：人



3 施設の運営・維持管理について

今後の修繕費用等の見込額（長期運営継続時の修繕箇所）

市民温水プールについては、現在の施設規模を維持したままで、20年以上の長期運営をする場合、修繕箇所見込額を合算すると10億円以上の費用が見込まれます。

①	内装及び屋根修繕工事等	3億2,600万円
②	プール本体	1億9,800万円
③	天井修繕	1億6,300万円
④	可動屋根	9,800万円
⑤	チラーユニット	8,800万円
⑥	濾過機	4,400万円
⑦	空調修繕	4,200万円
⑧	防災設備（自動火災報知設備等）	1,700万円
⑨	中央監視装置	1,700万円
⑩	変電設備	1,300万円

※市民温水プール：長期運営継続時の主な修繕箇所（金額は概算）

※上記以外にも修繕箇所あり

4 サウンディング型市場調査について

ゆめパレアむこうの今後のあり方について、民間事業者に意見を募るサウンディング型市場調査を令和3年5月から実施し、5社の参加がありました。

サウンディング型市場調査では、ゆめパレアむこうが、本市が保有する公共施設としては、規模が大きく、施設の規模縮小を検討すべきというご意見や今後人口が減少する中で、財政負担（維持管理に係る経費）の増大を考えれば、運営が難しくなるのではないかというご意見をいただきました。

民間事業者からの主な意見
• 長期的な維持管理コストを考慮すれば、現在の機械設備を更新するよりも、建て替えをして、施設をコンパクトに集約する方が総費用は安くなる。
• 施設規模が過大であるため、ふさわしい規模にダウンサイジングすることを検討すべき。
• 今後、人口減少が予想される中で、財政負担を考えれば運営を続けることは難しくなる。
• 事業規模が同程度の民間事業者の施設と比較して、規模が大きい。そのため、ランニングコストや機械設備の更新時に、余計な費用が掛かっている。

5 利用者アンケートについて

ゆめパレアむこうの今後のあり方について、令和4年2月から3月までにかけて、利用者アンケート実施し、329名の方から回答がありました。

利用者からの主な意見
<p>◆利用料金について</p> <ul style="list-style-type: none">・料金（利用）を値上げしてでも、継続してください。・会員以外でも、自由に子連れで利用できる向日市民温水プールは大変便利に利用させていただいています。・一般のジムよりは安価だと感じます。・もう少し値上げしても妥当だと思います。ただし、向日市民とそれ以外の利用者には、今以上の利用料の差が必要だと感じます。・京都市や府の施設を向日市民は同じ条件で利用できません。もっと向日市民を優遇してほしいと思います。・向日市民の料金が安すぎる。利用料金を上げる、駐車場も料金を取るなど、そんなことでは、赤字を補えないのか。多少金額が上がっても、また利用できるようになったら嬉しい。・収支面で難しい状況でしたら、利用料金の値上げは問題ないです。（元々料金は他と比べると安い）・市税で作ったのだから、市民には利用しやすい価格は当然だが、市外の人には応分の負担をしてもらって然るべき。
<p>◆施設の仕様について</p> <ul style="list-style-type: none">・温水プールと同じく費用が掛かるのが給湯設備です。「お風呂」、プールサイドの「サウナ」の設置状況を見直してほしいと思います。・スポーツ施設で汗をかき、「シャワー」を浴びることはあっても、「お風呂」と「サウナ」は本当に必要なのでしょうか。・「多額の費用」に苦しむ自治体の保有できる設備では無いと思います。・運動の後はシャワーだけで十分ではないでしょうか。・公益財団法人向日市スポーツ文化協会が運営する「トレーニング室」があります。規模は、「健康増進センター」よりも小さいですが、設備は利用者数以上に用意されており、運営母体が違うだけで同じ自治体の施設で重複しているのは無駄ではないでしょうか。・2階の「第2トレーニング室」にあるマシンですが、ほぼ使われていません。「トレーニング室」の器具が集中的に使われています。・特に混雑していると感じるのが、持久運動マシン、フリーウエイト、腹筋と背筋のベンチ式器具となっています。フリーウエイトコーナーを「第2トレーニング室」に移設させれば、持久運動マシンとベンチ式器具が追加できると思います。・「トレーニング室」を高齢者用プログラムに限定して使用すべきではないでしょうか。

利用者からの主な意見

◆駐車場について

- ・「ゆめパレアむこう」の屋外中央部分が芝生の広場になっていますが、誰も利用していません。広場を使う方は、道路を隔てた公園を使っており、有遊スペースだと思います。
- ・中央の広場を駐車スペースに変更できないでしょうか。

◆その他

- ・健康都市宣言むこうのシンボリックな施設で多くの市民が利用している状況。早期の改修工事を実施し、施設の再開を期待します。
- ・健康：医療費の抑制効果、子育て：子育ての良い環境施設、コミュニケーションの場、福祉：高齢者コミュニケーションの場、施設の効果は大いにあります。
- ・一人暮らしで仕事以外に人との接点がない毎日に、パレアに通うことで、人との会話が生まれ、体の健康と共に心の健康にも大いに役立っています。また、交流の中で、互助関係ができ、生活になくってはならない施設となっています。プールが無理ならジム、ジムが無理ならお風呂だけでも、何らかの形で存続していただきますようお願いいたします。
- ・健康増進を目的とした市施策「ゆめパレア」は、他の自治体には無い地域エコシステム「ヘルス&ウェルネス」。他県の友人に自慢できる向日市の施策・施設です。
- ・住みたい街ランク付けのトップは、「子育てしやすい」、「自治体のDBJ健康経営（ヘルス&ウェルネス施策）」です。地域・向日市民・近隣市民の健康増進に向けたゆめパレアむこうの早期再開を期待しています。地域自治体、企業、法人、大学・高校、健康サービスの協働取組みを検討し、運営の効率と魅力度を高めることが重要です。
- ・今後、向日町駅東口周辺に住まれる人にも、施設を使ってもらえるよう働きかける努力が必要。
- ・市民にもプールが持つ良さをもっとアピールして利用を促すなどの働きかけを市はもっと積極的にすべき。
- ・収入増加につながる案として、利用料の値上げ、駐車場有料化、入浴のみチケット販売。
- ・周辺に同じような施設がたくさんあると言われますが、障がい者が気兼ねなく使えますか。市民の福祉を謳うなら、既に建っている立派なプールを有効活用すべきです。次代の人たちに素晴らしい財産を継承して行ってください。
- ・民間では、親子で自由に利用することもできないので、公共プールは必要です。みなさん、再開されることを望んでいます。
- ・交通の便が悪い場所なので、車での利用者が多いので、駐車場を有料化しても良いのではないかと。また、利用者の少ない日曜日は、22時まで営業せず、20時までにするなど改善点があると思います。
- ・ネーミングライツや周辺企業の社員割引など、企業協力を促してみてもどうか。
- ・収益が分散していないでしょうか。「健康増進センター」に統合すべきです。